

## 平和宣言

あの忌まわしい悲惨な戦争が、かつて、この美しい島で繰り広げられました。

鉄の暴風といわれるおびただしい数の砲弾による空襲や艦砲射撃により、私たちの島は、戦火に焼き尽くされ、多くの尊い命が失われました。

私たちは、あの悲惨な体験から戦争の愚かさ、命の尊さ、平和の大切さという教訓を学びました。

あの戦争から79年の月日が経った今日、私たちの祖<sup>うやふあーふじ</sup>先は、今の沖縄を、そして世界を、どのように見つめているのでしょうか。

広大な米軍基地の存在、米軍人等による事件・事故、米軍基地から派生する環境問題など過重な基地負担が、今なお、この沖縄では続いています。

加えて、いわゆる、安保3文書により、自衛隊の急激な配備拡張が進められており、悲惨な沖縄戦の記憶と相まって、私たち沖縄県民は、強い不安を抱えています。

今の沖縄の現状は、無念の思いを残して犠牲になられた御霊を慰めることになっているのでしょうか。

かつて、沖縄の本土復帰にあたり、日本政府は、「沖縄を平和の島とし、わが国とアジア大陸、東南アジア、さらにひろく太平洋圏諸国との経済的、文化的交流の新たな舞台とすることこそ、この地に尊い生命を捧げられた多くの方々の霊を慰める道であり、沖縄の祖国復帰を祝うわれわれ国民の誓いでなければならない。」との声明を出しました。

この声明を思い起こし、沖縄県民が願う、平和の島の実現のため、在沖米軍基地の整理・縮小、普天間飛行場の一日も早い危険性の除去、辺野古新基地建設の断念など、基地問題の早期解決を図るべきです。

世界に目を向けると、今なお、争いは絶えることなく、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ情勢など、戦争という過ちを繰り返してきています。

東アジアでは、米中対立や中国の軍事力の強化、台湾や朝鮮半島を巡る問題など、自国の軍事増強により、抑止力の強化がかえって地域の緊張を高めている一方、経済面での緊密な結びつきが併存するなど、安全保障環境が複雑化しています。

世界の平和と安定に向けて、各国・各地域に求められているのは、それぞれの価値観の違いを認め合い、多様性を受け入れる包摂性と寛容性に基づく平和的外交・対話などのプロセスを通じた問題解決です。

私たち沖縄県民は、万国津梁の精神で、近隣諸国との交流により、信頼関係を築いてきた歴史があり、また、「命どう宝」「ユイマール」「チムグクル」など多様な価値観の受容、相互扶助といった精神文化を継承しています。

「新たな建議書」「平和の礎」「沖縄平和賞」は、人類普遍の価値である平和を願う「沖縄のこころ」の表れであり、世界の恒久平和は、沖縄県民の切なる願いです。

私は、沖縄が国際平和創造拠点となり、万国津梁の精神をもって、「沖縄のこころ」を国内外に発信し、世界の平和構築や相互発展、国際的課題の解決に向け地域外交を展開していくことが、地域の緊張緩和と信頼醸成に貢献し、世界の恒久平和に繋がっていくものと確信しています。

国連ピース・メッセンジャーであり、自然保護や人道問題へ取り組む世界的な環境活動家でもあるジェーン・グドールさんは、「私たちの行動は、

毎日必ず何かしらの影響を世界に与えています。どんな行動を取るかが  
“違い”を生み、どのような“違い”を生み出したいのかを決めなければ  
なりません。」と語っています。

一人ひとりの思いや行動は、たとえ微力でも、確実に世の中を変えてい  
く力があると、勇気を与えてくれる言葉です。

今こそ、私たち一人ひとりに求められるのは、不条理な現状を諦めるの  
ではなく、微力でも声をあげ、立ち上がる勇気、そして、行動すること  
です。

先人から受け継いだ精神文化をもって、他者を尊敬し、思いやり溢れる  
社会を造り上げ、核兵器の廃絶、戦争の放棄、恒久平和の確立に向けて、  
共に絶え間ない努力を続けてまいりましょう。

わった一元祖んかい 誇 ないる沖縄あらんと一ないびらん。

わった一や近 隣ぬ諸国とう交 流っしちやるたみ、信頼関係ぬ仲までい  
積み上げていちやる歴史ぬあいびーん。

わった一や平 和大切にす精神ぬあいびーん。

わった一や価 値観ぬ違げぬあていん互に容認合ぬないる精神文化ぬ  
継承さっと一いびーん。

沖縄県が世界ぬ恒久平和ぬ架橋ないるぐとう一緒っし目標んかい向かて  
いいちやびらな。

*We strive to make Okinawa an island we and our ancestors are proud of,  
We have a history of trust that has been established through exchanges  
with our neighboring countries.*

*We bear hearts that cherish peace.*

We carry on the spirit of accepting diverse values.  
We, the people of Okinawa, shall together aim to be the bridge  
to world peace for all time.

本日、慰霊の日に当たり、犠牲になられた全ての御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、戦争に繋がる一切の行為を否定し、人間の尊厳を重く見る「人間の安全保障」を含めた、より高次の平和を願い続け、この島が世界の恒久平和に貢献する国際平和創造拠点となるよう、全身全霊で取り組んでいくことをここに宣言します。

令和 6 年 (2024年) 6 月 23 日

沖縄県知事 玉城 デニー

< しまくとぅば・英語翻訳 エッセンス >

私たちの祖先に対して誇れる沖縄でありたい。

私たちは近隣諸国との交流により信頼関係を築いてきた歴史があります。

私たちは平和を大切にする心があります。

私たちは価値観の違いを認め合う精神文化を継承しています。

沖縄県が世界の恒久平和の架け橋となるよう、ともに目指してまいりましょう。